

環境アセスメント学会

2024 年度 第 23 回大会プログラム

The 23rd Annual Conference Program in 2024

The Japan Society for Impact Assessment



2024 年 8 月 30 日（金）、31 日（土）

30-31August 2024

東京農業大学世田谷キャンパス 国際センター

2024 年度環境アセスメント学会第 23 回大会開催について

2024 年度環境アセスメント学会第 23 回大会を、東京農業大学世田谷キャンパスで開催することとなりました。今年は、対面開催といたします。また、会場を確保して懇親会を実施するとともに、エクスカーションとして馬事公苑を訪問し、東京オリンピックのフォローアップについての意見交換を実施することといたしました。円滑な大会運営に努めますが、ご参加いただくみなさまにおかれましても、大会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

環境アセスメント学会第 23 回大会実行委員長

荒井 歩（東京農業大学 地域環境科学部 教授）

【参加申込等に係る注意事項】

- ・大会に参加される方は、可能な限り大会参加費の事前振込を御願います。振り込み先は、申し込みいただいた方に連絡します。
- ・大会の参加申込の締切は、早期申し込み（割引あり）は 8 月 18 日（日）、通常申し込みは 8 月 28 日（水）です。会場での当日申し込みは割高となりますので、事前の参加費振り込みをお願いします。
- ・要旨集ダウンロードの情報は、事前申し込みをいただいた方にメールでお送りします。
- ・なお、大会 1 日目午後の開会式、及び、シンポジウム「(仮) 洋上風力発電にかかるセントラル方式の導入 ～環境アセスメントにおける意義と課題～」は一般公開としますので、参加申込のみで参加いただけます。この場合、配布資料は発行いたしません。

【大会イベントのご連絡】

8 月 29 日（木）14:00-17:00（13:30 開場）に、環境省主催、環境アセスメント学会・東京農業大学後援で、「第六次環境基本計画と今後の環境政策について」が開催されます。大会と同じ会場（東京農業大学世田谷キャンパス国際センター）で実施し、Web 配信も行われます。参加費無料です。環境省主催シンポジウムへの参加方法等については、環境省 HP（環境影響評価情報支援ネットワーク等）でご案内します。

環境アセスメント学会第 23 回大会実行委員会

荒井 歩（東京農業大学・大会実行委員長）

伊東 英幸（日本大学・若手研究会）

佐藤 律子（日本工営(株)・企画委員会）

錦澤 滋雄（東京工業大学・行事委員会）

松島 正興（(株)三菱地所設計・行事委員会）

岡澤 宏（東京農業大学）

瀬口 純（エヌ・エス環境(株)、東京農業大学）

堀岡 亜貴子（(株)東京久栄・行事委員会）

宮下 一明（(株)東京久栄・行事委員会委員長）

2024 年度 第 23 回大会プログラム

日程：8 月 30 日（金）、8 月 31 日（土） 場所：東京農業大学 世田谷キャンパス 国際センター

方法：現地対面開催

大会スケジュール・プログラム概要

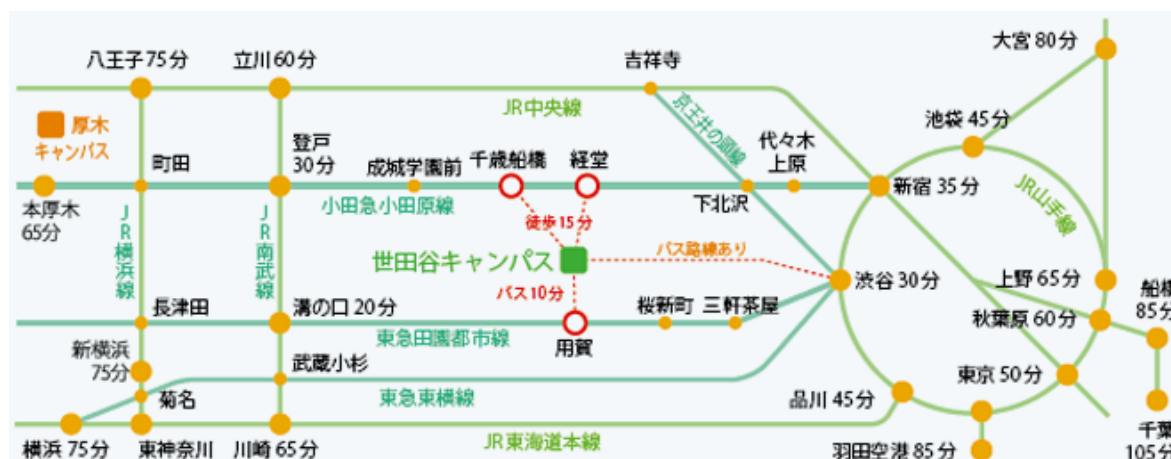
大会 1 日目（8 月 30 日、金曜日） 国際センター

09:00 受付開始（ロビー）	
09:30-10:30 2 階 榎本ホール 一般研究発表① 「政策・制度 1」 【3 件】	2 階 カンファレンスルーム 一般研究発表② 「市民参加」 【3 件】
10:30-10:40 休憩	
10:40-12:00 2 階 榎本ホール 一般研究発表③ 「政策・制度 2」 【4 件】	2 階 カンファレンスルーム 一般研究発表④ 「風力・海域」 【4 件】
12:00-13:00 昼食	
13:00-14:00 2 階 榎本ホール横スペース ポスターセッションコアタイム 【11 件】	
14:00-14:10 休憩	
14:10-14:20 2 階 榎本ホール 開会式 開会挨拶 藤田 八暉（本学会会長／久留米大学）	
14:20-15:00 2 階 榎本ホール 受賞記念講演 優秀賞 実務部門受賞者 浦郷 昭子（有限会社レイヴン） 奨励賞 研究部門受賞者 安元 彩佳（独立行政法人国際協力機構）	
15:00-15:10 休憩	
15:10-17:10 2 階 榎本ホール 企画委員会主催シンポジウム テーマ：（仮）洋上風力発電に係る環境配慮のための新たな制度の導入 ～環境アセスメントにおける意義と課題～ 15:10～15:15（5 分）趣旨説明 本学会常務理事 上杉哲郎（企画委員長） 15:15～15:55（40 分）基調報告 （仮）洋上風力発電に係る適正な環境配慮を確保するための新たな制度について 環境省環境影響評価課 課長補佐 澁谷 潤 15:55～16:10（15 分）報告 1 洋上風力発電に係る適正な環境配慮におけるセントラル方式導入の意義について 本学会常務理事 早稲田大学教授 大塚直 16:10～16:25（15 分）報告 2 洋上風力発電に係る適正な環境配慮におけるセントラル方式導入の技術的課題について 本学会理事 東京工業大学准教授 錦澤滋雄 16:30～17:15（45 分）パネルディスカッション コーディネーター 本学会顧問 法政大学名誉教授 田中充 パネリスト 上記登壇者及び荒井歩（本学会理事 東京農業大学教授）	
18:00-19:30 国際センター1 階カフェスペース	

大会2日目(8月31日、土曜日) 国際センター

08:50 受付開始(ロビー)	
09:10-10:30 2階 榎本ホール 特別集会1 「エリア対応アセスの考え方」	09:10-10:30 2階 カンファレンスルーム 一般研究発表⑤ 「調査・予測・評価1」 【4件】
10:30-10:40 休憩	
10:40-12:00 2階 榎本ホール 特別集会2 「再エネ立地問題の現状と課題」	10:40-12:00 2階 カンファレンスルーム 一般研究発表⑥ 「調査・予測・評価2」 【4件】
12:00-12:20 2階 榎本ホール 閉会式	
13:00-13:30 2階 榎本ホール 臨時総会	
14:00 エクスカーション 馬事公苑見学(東京オリンピックフォローアップ調査の内容)	

■ アクセスマップ



小田急線 経堂駅下車 徒歩約15分

千歳船橋駅下車 徒歩約15分

バス約5分(千歳船橋駅～農大前) 東急バス 渋谷駅行(渋23)、用賀駅行(用01)

東急田園都市線 用賀駅下車 徒歩20分

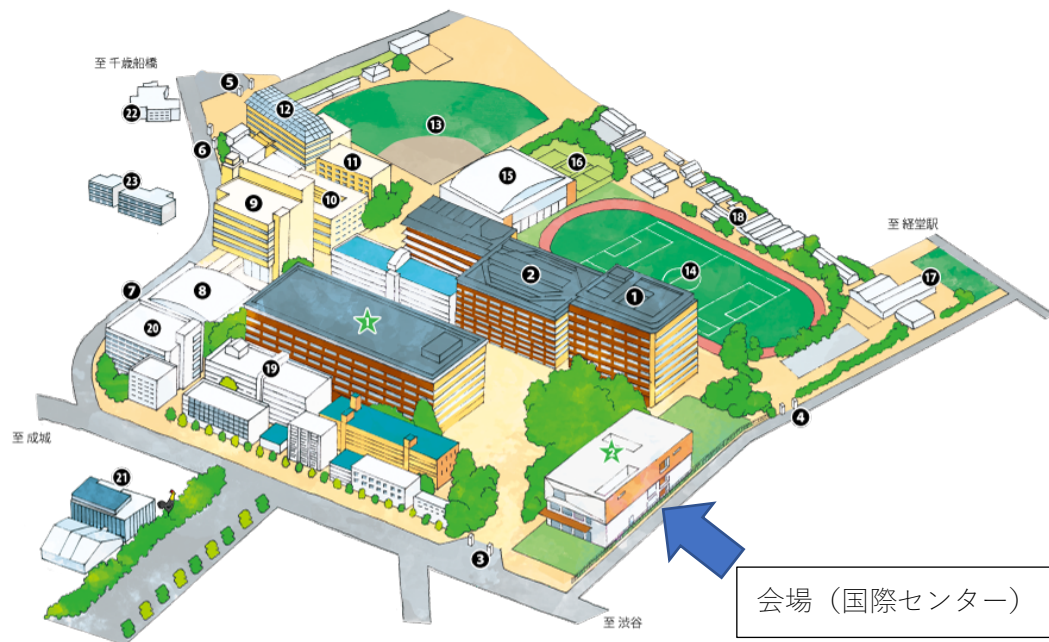
バス約10分(用賀～農大前) 東急バス 祖師ヶ谷大蔵駅行(用01)、渋谷駅行(渋22)

JR山手線 渋谷駅下車(渋谷駅西口) バス約30分(渋谷駅～農大前)

小田急バス 調布駅南口行(渋26)

東急バス 成城学園前駅西口行(渋24)、用賀行(渋22)、祖師ヶ谷大蔵駅行(渋23)

■ キャンパスマップ



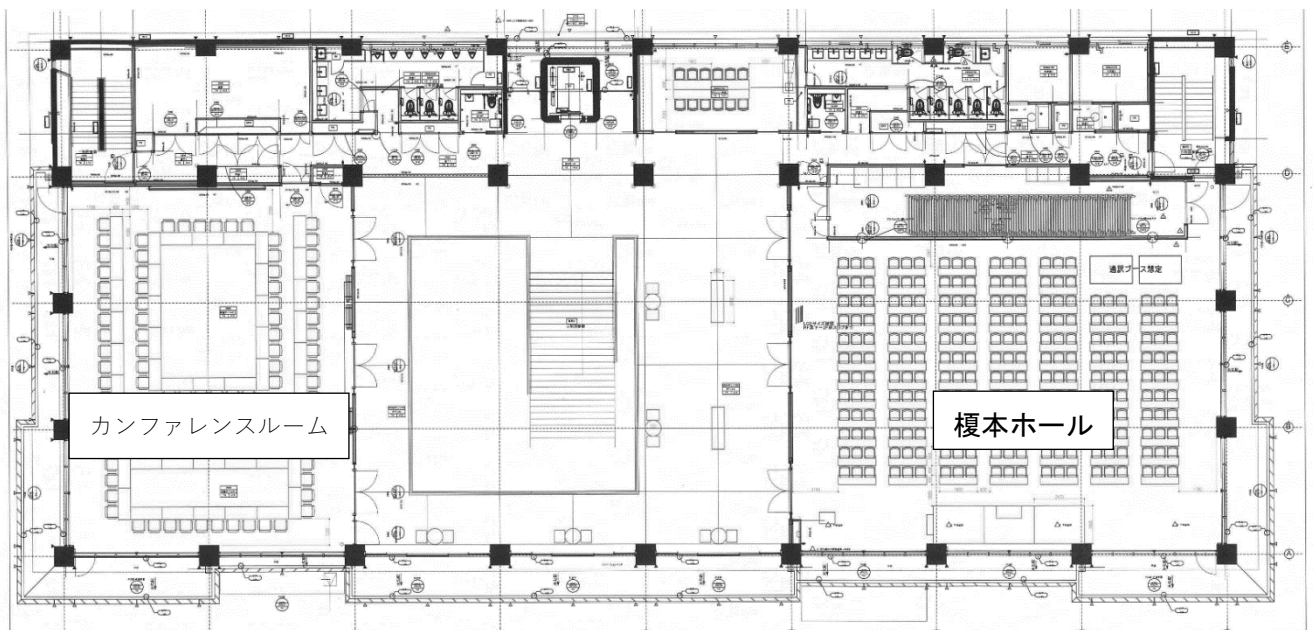
NEW

- ★ 農大サイエンスポート
(研究棟、学部事務室)
- ★ 国際センター
(榎本ギャラリー、榎本ホール、サザコーヒー、農大マルシェ)
- ① 農大アカデミアセンター
(図書館、学校法人本部、大学事務) 入学センター1階
- ② 1号館 (講義棟)
- ③ 正門
- ④ 経堂門
- ⑤ 千歳門
- ⑥ 桜丘門
- ⑦ 用賀門

- ⑧ 100周年記念講堂
カフェテリアグリーン
- ⑨ 18号館
レストラン「すずしろ」
- ⑩ 常磐松会館本館
(農友会部室、生協、セブンイレブン)
- ⑪ 常磐松学生会館 (同好会室)
- ⑫ 常磐松会館道場
- ⑬ 野球場
- ⑭ グラウンド
- ⑮ 桜丘アリーナ
(体育館、トレーニングジム)
- ⑯ テニスコート
- ⑰ ホッケー場

- ⑱ 温室
- ⑲ 11号館 (健康サポートセンター)
- ⑳ 12号館 (食品加工技術センター)
- ㉑ 「食と農」の博物館・パイオリウム
- ㉒ グリーンアカデミー・ホール
- ㉓ 桜丘寮・若草寮

■ 国際センター 2階平面図



プログラム詳細

一般研究発表プログラム（注：肩書きは報告者のみ、発表時間＋質疑は各 20 分）及び特別集会

大会 1 日目（8 月 30 日、金曜日） 国際センター

■一般研究発表① 「政策・制度 1」 2 階 榎本ホール

座長：上杉哲郎（学会常務理事） 座長補佐：高宮康大（環境省）

1	09:30-09:50	スクリーニングによるアセス手続き省略に関する研究 ○長田 篤佳（大成建設（株））、皆川 克志、下條 肇、井原 寛人、宮田 洋実、小川 遼、齋木 美悠、岩沢 進、濱田 敏宏
2	09:50-10:10	自主的環境アセスメントの普及啓発に関する研究 ○林 正男（（株）エイト日本技術開発）、鷹野 まい、吉田 豪、赤塚 利之、山内 香織、森本 尚弘
3	10:10-10:30	自治体の自主アセス受け入れに関する研究 ○下條 肇（（株）パスコ）、皆川 克志、長田 篤佳、井原 寛人、宮田 洋実、小川 遼、齋木 美悠、岩沢 進、濱田 敏宏

■一般研究発表② 「市民参加」 2 階 カンファレンスルーム

座長：錦澤滋雄（学会理事） 座長補佐：長澤康弘（東京工業大学）

1	09:30-09:50	自治体の環境影響評価に関する条例に対する市民会議的手法導入の可能性検討 ○花岡 千草（東洋大学）
2	09:50-10:10	景観・交通シミュレーション作成に参加した住民等への意識調査より ○傘木 宏夫（NPO 地域づくり工房）、二ノ宮リム さち、川上 珠美、浅田 健志
3	10:10-10:30	生物多様性が高い地域で住民独自の調査が行われたメガソーラー環境影響評価の一事例 ○小山 正人（NPO 法人野生動物救護獣医師協会）

■一般研究発表③ 「政策・制度 2」 2 階 榎本ホール

座長：奥真美（学会監事） 座長補佐：柴田裕希（東邦大学）

1	10:40-11:00	ESG 債と環境アセスメントの関係性についての調査 ○鈴木 麻未（いであ（株））、菊地 朋希、柴田 勝史、大山 雅丈、隈 清悟、森本尚弘
2	11:00-11:20	環境アセスメントにおけるビジネスと人権の問題 -神宮外苑再開発アセスを事例に- ○原科幸彦（千葉商科大学）
3	11:20-11:40	廃棄物処理施設に対する環境影響調査の現状 ○門屋 真希子（神奈川大学）、山崎徹
4	11:40-12:00	民間企業における「生物多様性」に関わる仕事の「やりがい」に関するアンケート結果報告 ○岡田 美穂（名古屋大学）

■一般研究発表④ 「風力・海域」 2 階 カンファレンスルーム

座長：宮下一明（学会常務理事） 座長補佐：奥野 文佳（環境省）

1	10:40-11:00	洋上風力発電の環境配慮に係る制度的取組 ○高宮 康大（環境省）、平山 歩夢、奥野 文佳
---	-------------	--

2	11:00-11:20	「洋上風力発電所に係る環境影響評価手法の技術ガイド」について ○染谷 祐太郎（環境省）、會田 義明、奈良尾 紀美子
3	11:20-11:40	風力発電事業におけるクマタカ・チュウヒに関する環境影響評価の基本的考え方 ○中山 裕貴（環境省）、會田 義明、福田 朋也、奈良尾 紀美子
4	11:40-12:00	海域における生態系の予測評価手法の検討 ○北條 優（三洋テクノマリソ（株））、塘 研、永尾 謙太郎、中野 将和、城野 裕介、中祖 瑠衣、千葉 暁允

大会2日目（8月31日、土曜日） 国際センター

■特別集会① 「エリア対応アセスの勧め」 2階 榎本ホール

コーディネーター 柴田裕希（東邦大学）

9:10-10:30		学会企画委員会の小冊子ワーキンググループでは、今年度「エリア対応アセス」のテーマで小冊子の作成に取り組んでいる。この特別集会では、個別の事業の範囲を超えてエリアでの対応が求められる環境影響について、その課題と対策を複数の事例から整理し報告する。そのうえで、エリア対応アセスのあり方に関して、考え方と今後必要な取り組みについて、小冊子WGのメンバーと会員の間で特別集会の形式で議論する。 <プログラム> 1. はじめに（10分）「趣旨説明」：柴田 裕希（東邦大学） 2. エリアで対応が求められる課題の事例 ・報告1（5分）「事業集積により影響の懸念が生じている例」：傘木 宏夫（NPO 地域づくり工房） ・報告2（10分）「事業の集積に対して協議会が設置された例」：傘木 宏夫（NPO 地域づくり工房） ・報告3（10分）「事業の集積の懸念に対して地域が計画で対応した例」：長澤 康弘（東京工業大学） ・報告4（10分）「事業の集積に対してアセスの中で考慮した例」：松島 正興（（株）三菱地所設計） 3. エリア対応アセスの勧め＝課題と考え方（10分）：上杉 哲郎（株式会社日比谷アメニス） 4. 全体討論（25分）
------------	--	---

■一般研究発表⑤ 「調査・予測・評価1」 2階 カンファレンスルーム

座長：佐藤律子（学会理事） 座長補佐：鷹野まい（（株）オオバ）

1	09:10-09:30	気候変動適応を考慮した環境アセスメント手法に関する検討 ○尾原 正敬（（株）千代田コンサルタント）、岡本 直也、平尾 実、渡邊 英明、森本 尚弘
2	09:30-09:50	地熱発電所の環境アセスメントにおける大気拡散予測の現状と今後の展望 ○青木 一樹（東北緑化環境保全株式会社）、富田 尚樹、岡田 真秀、瀧本 浩史、佐藤 歩
3	9:50-10:10	地熱発電所の環境アセスメントにおける硫化水素の評価に関する検討 ○岡田 真秀（東北緑化環境保全株式会社）、土屋 郷、青木 一樹
4	10:10-10:30	環境騒音評価で測定値のバラツキのために誤評価となる確率 ー長野県等の環境騒音調査を例にした誤判定の確率についてー ○内田 英夫（元東京農業大学）、町田 哲、岡澤 宏

■特別集会② 「若手研究会セッション 再エネ立地問題の現状と課題」 2階 榎本ホール
 コーディネーター 伊東英幸（日本大学）

10:40-12:00

環境アセスメント学会若手研究会では、「再エネ促進区域・適地選定お助け隊」の活動に取り組んでいる。昨年度は、改正温暖化対策推進法に伴う国内地域での再生可能エネルギー促進区域選定等に関連した自治体の課題について議論を行ったが、今年度は再エネ立地問題に係る事例紹介と課題について多角的な観点から話題提供して頂き、ディスカッションを行う。

<プログラム>

□開会の挨拶：伊東 英幸（日本大学）

□話題提供

- ・再生可能エネルギー施設立地地域の受容性：本巢 芽美（名古屋大学）
- ・再生可能エネルギー開発に対する住民運動の動向：傘木 宏夫（NPO 地域づくり工房）
- ・再エネ立地紛争の事例紹介：長澤 康弘（東京工業大学）
- ・k.LAB 再エネポテンシャル適地評価ツールを活用したケーススタディ：林 希一郎（名古屋大学）

□パネルディスカッション（コーディネーター：田中 充（法政大学））

パネリスト（各話題提供者）

■一般研究発表⑥ 「調査・予測・評価2」 2階 カンファレンスルーム

座長：真田純子（学会常務理事） 座長補佐：長岡篤（千葉商科大学）

1	10:40-11:00	経済的評価手法の環境影響評価への導入可能性に関する研究 ○熊谷 仁志（パシフィックコンサルタンツ（株））、安藤 伸彦、横溝 孝幸、高松慎吾、野口 侑璃奈、尾原 正敬、森本 尚弘
2	11:00-11:20	脱炭素社会を見据えた環境影響評価に資する温室効果ガスの予測評価に関する研究 ○政倉 誠（（株）長大）、中田 俊宏、永島 右光、森本 尚弘、尾原 正敬
3	11:20-11:40	計画段階における「景観」解析手法の検討 ―世界文化遺産登録を目指す「阿蘇」での試み― ○早坂 竜児（（株）パスコ）、門田 寛、新開 美穂、熊本県文化企画・世界遺産推進課
4	11:40-12:00	「夕陽百選」にみる夕陽景観鑑賞における視点場の特徴 ○荒井 歩（東京農業大学）、宮嶋 美波

■ポスターセッション（注：肩書きは主報告者のみ） 【コアタイム 8月30日（金）13：00-14：00】

2階 榎本ホール横スペース ※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	都市緑地におけるヒトと野生動物による同所的な利用 ―日周活動から感染のリスクを評価する― ○鮎澤 怜佑（帯広畜産大学）、浅利 裕伸	若手
2	自治体の総合計画策定における持続可能性アセスメントに向けた取り組み状況の分析 ○高橋 克英（東邦大学）、柴田 裕希	若手
3	船舶用レーダーを用いた洋上風力発電における鳥類の環境アセスメント手法の開発 ○河村 佳世（新潟大学）、鎌田 泰斗、佐藤 雄大、河口 洋一、島田 泰夫、黒田 幸夫、三上 かつら、綿貫 豊、関島 恒夫	若手
4	Impact of an environmental conflict due to a large-scale PV project on the acceptance of mandatory to install residential PV ○LUO HAN（東京工業大学）、錦澤 滋雄、村山 武彦、Kultip Suwanteeep	若手
5	再エネ海域利用法に基づく協議会の議事録分析 ○関 真大（東邦大学）、竹内 彩乃	若手
6	霞ヶ浦沿岸地域におけるレンコン栽培に関する農業景観の特徴と変遷 ○渡辺 瑞樹（東京農業大学）、荒井 歩	若手
7	奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキルの発生要因分析 ○大森 涼太（日本大学）、伊東 英幸、末次 優花	若手
8	メガソーラー設置前後における鳥類の出現状況の比較 ―鳥取県立大山オオタカの森を事例として― ○末次 優花（日本大学）、田中 一郎、日置 佳之、伊東 英幸	若手
9	再生可能エネルギー条例の類型化 ○宮本 誠隆（東邦大学）、飯部 智弘、竹内 彩乃	若手
10	SDGs に貢献するアセスのあり方に関する研究 ○小川 遼（一般社団法人日本環境アセスメント協会／日本工営株式会社）、皆川 克志、齋木 美悠、井原 寛人、下條 肇、長田 篤佳、宮田 洋実、岩沢 進、濱田 敏宏	一般
11	中部太平洋CCZ海域マンガノ団塊鉱区における採鉱機から発生するブリューム拡散シミュレーションの事例 ○村上 知里（深海資源開発株式会社）、西 圭介、Thomas Peacock、Carlos Muñoz-Royo、Raphael Ouillon、江里口 知己、小松原 由美	一般

■エクスカーショ 馬事公苑に係る東京オリンピックフォローアップ調査について

8月31日（土）14:00 東京農業大学正門出発（徒歩移動）

14:10 馬事公苑メインオフィス到着

14:20 馬事公苑の紹介(20分)

14:40 東京オリンピックフォローアップ調査の内容（20分）

15:00 現地案内（40分）

15:40 質疑応答

16:00 現地解散

※参加無料、徒歩による見学等

企画委員会主催 公開シンポジウムの概要
「(仮) 洋上風力発電に係る環境配慮の為の新たな制度の導入」
～環境アセスメントにおける意義と課題～

1. 開催主旨

2010 年の環境影響評価法改正から 10 年以上が経過し、今後その見直しが予定されている。令和 4 年(2022 年)度より、環境省に「再生可能エネルギーの適正な導入に向けた環境影響評価のあり方に関する検討会」が設けられ、風力発電施設のあり方に向けた議論が重ねられてきたが、その結果も踏まえ、2024 年通常国会には洋上風力発電に係る適正な環境配慮を確保するための新たな制度の導入のための洋上再エネ促進法改正案が提出されたところである(24 年 7 月時点:継続審議)。そこで、本年度のシンポジウムでは、洋上風力発電事業に係る環境アセスメントの枠組みに向けて必要と考えられる論点等、これまでの議論の状況等について環境省から報告頂くとともに、環境省検討会の委員を務められた方々から新たな制度導入の意義や技術的課題について報告頂き、今後の洋上風力発電に係る環境アセスの在り方について議論を行う。

2. 日時・場所

日時：令和 6 年(2024 年) 8 月 30 日(金) 15:10-17:15

場所：東京農業大学世田谷キャンパス 国際センター 2 階 榎本ホール

3. 進行

15:10～15:15 (5 分) 趣旨説明 本学会常務理事 上杉 哲郎 企画委員長

15:15～15:55 (40 分) 基調報告

(仮) 洋上風力発電に係る適正な環境配慮を確保するための新たな制度について

環境省環境影響評価課 課長補佐 澁谷 潤

15:55～16:10 (15 分) 報告 1

洋上風力発電に係る適正な環境配慮におけるセントラル方式導入の意義について

本学会常務理事・早稲田大学教授 大塚 直

16:10～16:25 (15 分) 報告 2

洋上風力発電に係る適正な環境配慮におけるセントラル方式導入の技術的課題について

本学会理事・東京工業大学准教授 錦澤 滋雄

16:30～17:15 (45 分) パネルディスカッション

コーディネーター 本学会顧問・法政大学名誉教授 田中 充

パネリスト 上記講演者 及び 荒井 歩(本学会理事・東京農業大学教授)

以上

【参加募集】環境アセスメント学会 2024 年度第 23 回大会プレイベント

環境省主催・環境アセスメント学会後援シンポジウム

第六次環境基本計画と今後の環境政策について

■開催趣旨

現在、私たちは気候変動、生物多様性の損失、汚染という 3 つの危機に直面しており、その危機の解決と循環共生型社会、「新たな成長」の実現を目的として、1994 年に策定した第一次環境基本計画からちょうど 30 年目の節目となる 2024 年 5 月 21 日に「第六次環境基本計画」が閣議決定されました。本計画においては、環境行政の最上位の目的として「現在及び将来の国民一人一人の『ウェルビーイング／高い生活の質』の向上」を掲げ、国民一人一人に寄り添う姿勢を明確に示しています。

また、環境アセスメント制度は、事業に係る環境の保全について適正な配慮がなされることを確保することをもって、現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に資することを目的としており、国民一人一人のウェルビーイングの向上を図っていく上で要の制度の一つであるといえます。

このような背景を踏まえ、本シンポジウムでは、今年度策定された第六次環境基本計画の内容について広く共有し、環境アセスメント制度を始めとした今後の環境政策について、より多くの皆様とともに考えていく契機となることを期待します。

■開催概要

名 称：第六次環境基本計画と今後の環境政策について

日 時：令和 6 年 8 月 29 日（木）14:00～17:00（13:30 開場）

※環境アセスメント学会年次大会（8 月 30 日（金）～31 日（土））の前日

場 所：東京農業大学世田谷キャンパス 国際センター

<https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>

※オンライン配信によるハイブリッド開催となります

主催等：主催 環境省 後援 環境アセスメント学会、東京農業大学

参加費：無料

■プログラム（予定）

(1)開会挨拶

川越 久史（環境省 大臣官房 環境影響評価課長）

(2)話題提供

①（仮題）第六次環境基本計画について

大倉 紀彰（環境省 大臣官房 総合政策課政策調整官）

②（仮題）ウェルビーイングを目指した地域づくりについて

山崎 清（株式会社価値総合研究所 執行役員 事業統括）

③（仮題）地域におけるコミュニケーションについて

本巢 芽美（名古屋大学 大学院環境学研究科 社会環境学専攻 環境政策論 特任准教授）

(3)パネルディスカッション

■その他：参加方法等の詳細につきましては、環境省HP（環境影響評価情報支援ネットワーク等）で改めて御案内します。

自然を識り、豊かな未来につなぐ



株式会社東京久栄

TOKYO KYUEI CO., LTD.

- ✓ 環境コンサルタント
- ✓ 海洋エンジニアリング
- ✓ 水中メンテナンス
- ✓ 新領域（再エネ、地域振興）

〔本 社〕 東京都千代田区岩本町 2-4-2

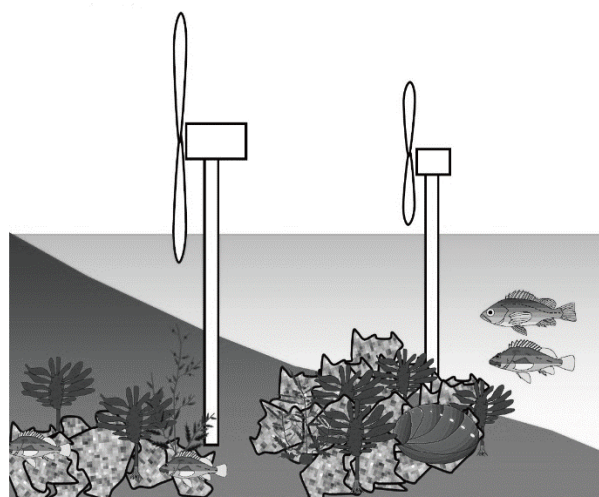
江戸新金網ビル 4F, 7F

〔技術センター〕 埼玉県川口市芝 6906-10

〔支店/営業所〕 九州/ 千葉、磯部、

四国、広島、沖縄、

ジャカルタ



【藻場造成による漁業振興イメージ】

株式会社 ポリテック・エイディディ

POLYTECH ADD

私たちは、明日の「都市」と「環境」を創造する
コンサルティング集団です

〒104-0041

東京都中央区新富1-18-8 RBM築地スクエア

TEL: 03-6222-8911 FAX: 03-5541-3501

URL: <https://www.polyadd.co.jp>

代表者 代表取締役社長 望月 宣典

設 立 昭和50年（1975年）5月

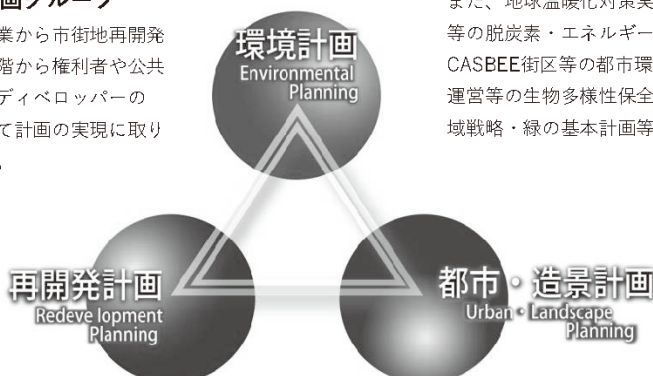
登 録 建設コンサルタント登録

（都市計画及び地方計画部門、造園部門、建設環境部門）
一級建築士事務所登録

3つのグループの力を結集して
コンサルティングを行います。

再開発計画グループ

民間の共同事業から市街地再開発
まで、初期段階から権利者や公共
団体あるいはディベロッパーの
方々と協力して計画の実現に取り
組んでいます。



環境計画グループ

計画段階から事業段階までの環境アセスメントの一連の対応（配慮書・方法書・準備書・評価書、住民・行政・審議会対応、事後調査等）を行っています。

また、地球温暖化対策実行計画、カーボンニュートラルに向けた調査検討、排出量取引等の脱炭素・エネルギー計画、ABINC・SEGES認証等の生物多様性保全・緑の評価、CASBEE街区等の都市環境性能評価、自然環境保全・再生計画や外来種防除・かいばり運営等の生物多様性保全・生態系保全計画、環境基本計画や環境報告書・生物多様性地域戦略・緑の基本計画等に取り組んでいます。

都市・造景計画グループ

都市計画マスタープラン、まちづくり都市再生・地域再生、産業振興、公園・緑地等の計画・設計の他開発申請業務にも取り組んでいます。

ID&E

サステナブルな未来の実現に向けて

「総合力 × DX」で環境・社会課題を
解決するソリューションを提供します



NIPPON KOEI

誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。
<https://www.n-koei.co.jp/consulting/>

**Pacific
Consultants**

Producing
The Future™

Producing The Future



www.pacific.co.jp

パシフィックコンサルタンツ株式会社

〒101-8462 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地

地域本社・支社：首都圏、北海道、東北、北陸、中部、大阪、四国、中国、九州、沖縄

海外拠点：シンガポール支店、ジャカルタ駐在員事務所、マニラ駐在員事務所

社会イノベーション事業本部 グリーン社会戦略部

TEL:03-6777-1671 (部代表) FAX:03-3296-0527

未来を切り拓く環境アセスメント

2024 年度主要施策

- 再生可能エネルギー分野の環境アセスメントの進展への貢献
- 自然的・社会的リスクに対する環境アセスメントの貢献
- 本部・支部一体となった活動の推進による会員サービスの向上
- 環境アセスメント士の活躍の場の拡大
- 若い世代・中堅技術者の育成や大学生を対象とした業界 PR など
会員の人材確保や人材育成サポート
- 最新の環境の問題・課題についての情報発信

「環境アセスメント士」 認定資格試験

「環境アセスメント士」認定資格制度は、環境アセスメントに専門特化した資格制度であり、(一社)日本環境アセスメント協会が環境アセスメント実務者の専門的な技術・技能を認定するものです。本資格制度による「環境アセスメント士」有資格者数は、現時点で総勢 750 名に達しました。

2024 年度の認定資格試験は、11 月 23 日(土・祝)に実施する予定です。

<2024 年度 認定資格試験の概要>

【資格部門】:「生活環境部門」並びに「自然環境部門」

【受験資格】: 四年制大学卒; 実務経験 5 年以上、大学院卒; 3 年以上、左記以外; 8 年以上

【試験科目】: 3 科目(業務経験、専門知識・共通基礎、管理技術等)

【試験日時】: 2024 年 11 月 23 日(土・祝)

【試験場所】: 仙台、東京、大阪、福岡

(問合せ先) 資格・教育センター

TEL: 03-3221-6731 FAX: 03-3221-6732 E-mail: a-qec@jeas.org

(一社)日本環境アセスメント協会 (JEAS)

〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 US 半蔵門ビル 7F

TEL: 03-3230-3583 FAX: 03-3230-3876 E-mail: jeas@jeas.org



詳しい協会活動の内容、入会申込み等は、ホームページ

(URL: <https://www.jeas.org>)をご覧ください。